

ペット質問箱

マダニ対策はいつから？

一年中 注意が必要

問 うちの子（犬）は外で遊ぶのが大好き。冬はマダニの予防をお休みしていましたが、そろそろ始めた方がいいでしょうか。

答 国内には50種ものマダニが生息しているといわれており、そのうち少なくとも5種から近年話題のSFTS（重症熱性血小板減少症候群）ウイルスが検出されています。

マダニは一般的に高温多湿を好み、春から夏にかけて活動が活発になりますが、中には冬に活動する種もいます。草の上を歩く犬や猫には季節を問わず体をよくチェックしたり、予防薬を使ったりして対策してください。人は肌を露出した格好で草むらに入らないようにしましょう。

マダニは主に山林、畑、庭などの草

の中に潜み、動物を待ち受けて吸血します。そのマダニが運悪くSFTSウイルスを保有していると、吸血時に動物の体内にウイルスが侵入し、感染します。症状のある動物の唾液や尿などの体液を介しても人に感染します。

国内では人、猫、犬、チーターの感染が報告されています。県内でも2020年に西部で猫の感染が確認されたのに始まり、全域で散発的に人や動物の感染が発生しています。

感染した猫や犬が動物病院に来院する際には「なんとなく元気がない」「食欲がない」といったはっきりしない症

状を訴えることが多いです。よく観察すると白目に黄疸おうだんが出ている場合があります。

有効な抗ウイルス薬やワクチンはなく対症療法を行います。特に猫で重症化しやすく、致死率は60～70%。犬でも30%、人でも10%に上ります。

ペットに関する素朴な疑問や健康、飼い方についての質問をお寄せください。〒422-8670 静岡新聞社編集局「ペット質問箱」係へ。Eメール<seikatsuhoudou@shizuokaonline.com>や、右のQRコードで投稿フォームからも送信できます。全てにはお答えできず、直接回答もしかねますがご了承ください。



マダニは他にもさまざまな病気を媒介するやっかいな存在。大事なペットや自分を守るために、マダニにかまれないように気を付けましょう。かまれたらすぐ動物病院に相談を。

（西村 千枝・県獣医師会員）

<月1回掲載します>